

14. 原稿に関する規定

- ①原稿はA4用紙に例に示すように作成する。
- ②作品1人（1本）についてアナ・朗・番組部門すべて1部提出する。（計時のため）
情報の台本は必要ない。
- ③原稿と 作品 をA4用の封筒に入れる。
- ・ ④封筒表書の見本

<アナウンス、朗読>				<AP・VM・情報>					
作 品 名	作 者 名	氏 名	学 校 名	朗 読 部 門	制 作 代 表 者	再 生 時 間	タ イ ト ル	学 校 名	A P 部 門
こ こ ろ	夏 目 漱 石	高 橋 圭 三	県 立 △ ○ 高 等 学 校	[13] 番	神 奈 川 次 郎	4 分 40 秒	お お 青 春	県 立 神 奈 川 高 等 学 校	[22] 番

注意1 アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。情報部門の再生時間は不要。

注意2 [] のなかは、大会当日、プログラムを見て記入する。

15. 諸注意

大会当日の運営に関することは、すべて引率教員を通して本部に申し出ること。
作品の返却は、閉会式後に行う。

16. 著作権処理

(1) 写真の著作権

アナウンス・AP・情報部門に用いる静止画は、制作者もしくは自校生徒が自ら撮影した画像とする。また自分が手書きで書いた画像をスキャンして取り込んだものも可とする。また一画面に複数の写真を合成したり、文字を入れて作成した写真も1枚と数え、使用できる。インターネットからの画像はそれが発表の主体となる場合は認めない。インターネットからの画像や、他者に権利があると思われる画像を使用する場合は、文書による使用許諾を必ず取ること。

(2) 音源の著作権

朗読・AP・VM・情報に用いる音源は、原則として著作権フリー音源とする。ネット上の著作権フリー音源も使用可とする。権利を有する音源を使用する場合は、正規の手段を用いて各学校で許諾申請をすること。

2015 年度 校内放送指導者講座 報告

日時 2015 年 12 月 28 日・29 日

場所 千代田放送会館

毎年、全国から放送部を指導する顧問教諭が集まり、開かれる指導者講座です。北海道から沖縄まで、放送に対する意識の高い先生ばかりで、活気にあふれています。

① <顧問交流>

放送部は、少し油断するとただのおしゃべり集団になってしまう。

活動は雑用も多く厳しいことをあらかじめ伝えておく。3K=きつい・根性・行動力

②<「なぜ兵庫は強いのか」 伊丹北高校 村川力三先生>

兵庫の強さ：2015N コン全国大会 テレドキュ 8 本→全て準決勝進出→2 本決勝へ

その他、アナウンス 5 名、朗読 7 名、ラジドキュ 4 本、ラジドラ 3 本

テレドラ 2 本など。

なぜ兵庫は強い → 参加校数が多い

高校数：全国で約 5000 校

	1 位	2 位	3 位	備考	
学校数	東京 431 校	北海道 290 校	大阪 257 校	4 位 神奈川 235 校	6 位 兵庫 212 校
参加校	北海道 145 校	兵庫 121 校	福岡 81 校	4 位 神奈川 67 校	
参加比率	沖縄 72%	宮崎 62%	徳島 61%	5 位 兵庫 57%	32 位 神奈川 29%

備考：参加校数は半数の都道府県で 30 校未満

兵庫県大会：地区大会 → 準決勝 → 決勝

地区：1 地区 3 5 校 2 地区 3 7 校 3 地区 2 7 校 4 地区 2 2 校

放送部会理事：4 0 名 それぞれが 4 地区に分かれて活動

兵庫県のとりくみ：①リーダー研修（年 2 回、8 月と 2 月）

引退した 3 年生が、学校の垣根を越えて下級生を指導

②放送フェスティバル（2 月）

地区ごとの大会。中学生も参加できるため次の部員獲得につながる。

③総合文化祭全国大会は、一度出場するとその後 2 年間その学校は全国大会に出られない。

その他

・1 つの学校が強くなると、県全体のレベルも引き上げられる。

・県立が強い：顧問が部活を引き上げる→生徒が自分たちで走り始める→転勤

→次の学校で放送部が引き上げられる&教え子が後継者に

・「コンテストのためにやるのではない」 ←その姿勢に多くの共感

③<番組審査講習 NHK 制作局青少年教育番組部チーフプロデューサー 早乙女先生>
アクティブラーニング(調べ学習): N コンはその最たるもの

良い作品とは?

「おもしろいもの」 ←くせ者 「おもしろい」は主観 主観の集合体
おもしろいとは?

①理解(「へえ～」と思うもの): 知らなかったことがわかる

②共感(「わかる」と思うもの): 相手の気持ちがわかる →感動

例) 出来ないことが出来るようになる

早乙女師の審査の観点

①テーマ、トピックス

- ・情報の新しさ、スクープ性
- ・時代性
- ・社会的重要度
- ・高校生らしい興味

②取材力、構成力

- ・テーマが明確か
- ・取材が的確か
- ・起承転結、結論へ向かってまっすぐか
- ・自分勝手なロジックにおちいていないか

③演出力、表現力

- ・手法の新しさ、奇抜さ、オリジナリティ
- ・リアリティ、説得力

④結論、メッセージ

- ・実際に取材したからこそ見えた真実

※技術力はさほど点数にならない → 大切なのは視聴者がどう見るか

テレドキュ「壁ドン」(横浜英和)について

- ・敷居の低い所から入ってどんどん展開して深い内容まで行っているのが素晴らしい。高尚な事を高尚な事から入って高尚に終わるのは簡単。
- ・演出力、構成力があって良い。感情が素直に出ている。

「どんな人でもドキュメントは撮れる。毎日人生を送っているのだから。1つ1つがドラマ」

朗讀

より始め - おすい

例7. T..... とある。 / 2" x 0.05" x 3; ΔΔ 2" x 2" x 3